

# Henry Moore

## A Living Presence

2003年7月25日(金) — 8月31日(日) 月曜日休館

●開館時間 火～金曜日(9:30～19:00) / 土・日曜日(9:30～17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで

入場料 一般 900円(720円) 高大生 500円(400円) 小中生 300円(240円)

●( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金

●65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

主催/高松市美術館、西日本放送 後援/ブリティッシュ・カウンシル 協賛/全日空

## ヘンリー・ムーア展



Takamatsu City Museum of Art  
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
Tel.087-823-1711





四角い形態 1934年 パーガンティ・ストーン



彫刻のための置作・内/外部の形態のためのアイデア 1949年 素描



弦のある横たわる人体 1939(1982)年 ブロンズ、真鍮ワイヤー

# Henry Moore

## A Living Presence

The works illustrated have been reproduced by permission of The Henry Moore Foundation.  
This exhibition is selected and organized by The Henry Moore Foundation.



布をまとった横たわる母と赤ん坊(ワーキング・モデル) 1982年 ブロンズ



座った女(ワーキング・モデル) 1980年 ブロンズ



突起のある長円形(ワーキング・モデル) 1968-69年 ブロンズ

イギリスが世界に誇る20世紀最大の彫刻家、ヘンリー・ムーア(1898~1986)は、抽象美術、シュルレアリスムなど同時代の最新動向から大きな示唆を受けながらも、ヨーロッパ美術の最も普遍的な主題である「人のかたち」から終生目を離すことなく、人間の形態とその尽きせぬ生命力を見つめ続けることによって、現代彫刻史に確固たる地位を築き上げました。

彼が創り出す作品世界は、とすれば現代文明が等閑視しがちな生命の尊厳、自然との対話、そして何よりも豊かな人間愛に満ちており、今日に生きる私たちに対しても重要なメッセージを語りかけています。21世紀という新しい時代が底知れぬ不安と昏迷のなかで幕を開けた今、ムーアの作品を改めて見直す体験は、人間同士の失われた信頼の絆を回復し、来るべき未来に光明を見出すための第一歩になるのではないのでしょうか。

本展は、イギリスのヘンリー・ムーア財団の全面的協力を得て、同財団の豊富なコレクションの中から、代表的なブロンズ彫刻に加えて、ムーアの制作活動の原点ともいべき素描類や直彫り彫刻、マケット(模型)などのプライベートな作品にも光を当てることにより、作家自身にしか知り得なかった創作の秘密に触れようとするものです。それらの多様な作品群を「横たわる人体」、「母と子」、「内/外部の形態」などの主題ごとにグルーピングすることで、従来の回顧展とは違った視点からムーア芸術の豊穡な全体像を紹介するものです。

### ギャラリートーク

- ヘンリー・ムーア財団学芸員による展示作品の解説 日時:7月26日(土)午後2時~2階展示室にて(通訳つき)
  - 当館学芸員による展示作品の解説 日時:8月9日(土)午後2時~2階展示室にて
  - 美術館ボランティア「civi(シヴィ)」による展示作品の解説 日時:会期中毎日曜日 午前11時、午後2時より
- \*いずれも聴講には観覧券が必要です。

### アートで遊ぼう!(鑑賞講座)

- 7月26日(土)午前9時30分~11時

### 第3期常設展のお知らせ

- 遊びのオブジェ 8月9日(土)~10月19日(日)
- 特別展示 音丸耕堂※特別展のチケットでご覧いただけます

### 次回催し物のお知らせ

- モリス・ドニ展 9月12日(金)~10月19日(日)



### 交通のご案内

JR 四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分  
ことでん-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分  
バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分  
駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)